



僕は、考え続けます。

坂井市立丸岡中学校 2年 後出 和希

僕はこの夏、市が行っている海外派遣事業の応募にチャレンジしました。結果は残念なものになりましたが、僕はこの応募をきっかけに、世界と自分について、考え始めたのでそのことを少し書きます。

僕の祖母が、普段、よく驚くことは、世界のニュースはすぐにテレビやインターネットで知ることができることです。例え、すごく遠い国の話でも、いいニュースも悪いニュースもすぐに知ることができます。とても便利になった訳ですが、外国に知られたくない悪い日本のニュースもすぐに世界にしられてしまいます。いい気分ではありません。しかし、最近、僕がよく考えることは、それが情報社会の怖さですが、その事実をまず受け止めることは大切だということです。小さい範囲で考えるなら、例えば、友達に自分のいいところだけを頑張って見せていては、多分、本当の付き合いはできないはずです。もちろん、いい人になろうと努力する必要はありますがもし自分にマイナスな部分があれば、それを相手に知ってもらうことで自分は随分楽になれるのではないのでしょうか。そして、それを補い合ったり、支え合うことができれば、ベストフレンドになれる気がします。国際的に考えると、もし、ある国に何かをしたいと思っても、その国に何が必要かがわからなければ、何もできません。ですから、相手が必要とすることと、自分ができることの情報交換はとても大切です。そして、自分が困っているなら、それを正確に伝えてSOSを出せば誰かが応えてくれるのではないのでしょうか。

僕の中学校では、2学期の始めにカンボジアの子供達に送る文房具やサンダルなどを集めます。僕はこの話を聞いた時に、これなら僕も協力できると思いました。難しいことやお金のかかることは今の自分には無理ですが、家にある不要な物がカンボジアで役に立つなら、すごく嬉しいことです。僕はこの活動に物を提供することで参加しますが、この活動には、他に、集まった物を仕分けしたり、送る準備をしたり、そして普通の旅行者がボランティアとして荷物を運んだり、多くの仕事があります。僕はそのメンバーのことは全く知りませんが、同じ仲間としてすごく親しみを感じます。

僕は今まで、言葉が通じないと国際協力はできないとばかり思っていたけれど、そうでないことに気付きました。直接でなくても、僕にもできることがあります。それが外国の誰かを助けることになるなら、僕の小さな行動は世界的な結果になります。僕が今できることは、まだまだ少ないですが、これからできることを少しずつ探し、増やしていきたいです。世界と自分について考えることは、この前スタートしたばかりです。僕はこうやって、ずっと考え続けます。